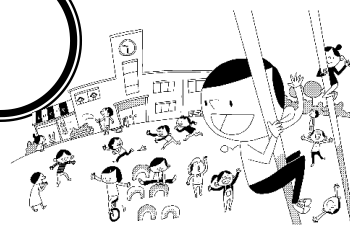


# どうとくのひろば



## 5年生の道徳の授業

主題名：よりよい学級集団になるためには

ねらい：【よりよい学校生活、集団生活の充実】

教材名：「森の絵」

あらすじ：クラスで劇をすることになったが、第一希望の役にはなれず、道具係となったえり子が、投げやりになり仕事に取り組んでいたところ、衣裳係として慣れない手つきで刺繍に一生懸命取り組む文男らの様子を見て、自分の役割に全力で向かうようになる姿が描かれている。

### 授業での具体的な様子



授業までに、屋島集団宿泊学習や学級活動などを通して経験したことや感じたことを基に、単元を通して「よりよい学級集団になるために必要なことは何だろう」というテーマについて自分の考えをつかっていきました。そして本時では、これまでの体験を基に、『森の絵』のお話を通して、さらにテーマについて考えていきました。

授業の初めに単元のテーマを確認した後、宿泊学習を通して上手くいった・いかなかったと感じた活動についてのアンケート結果やその時の写真を見ながら、自分の経験を想起するとともに、お話の中にも似た場面があることに気付きました。

その後、やる気が出なかったえり子が、どうして絵の完成に向けて頑張れたのかについて話し合い、「文男さんの姿を見て、自分も自分の役をしっかりとやらないと、と思ったんだよ。」「自分が手を抜いたら、みんなに迷惑が掛かると思ったからじゃないかな。」「手を抜いたままだと自分が後悔すると思ったんだよ。」など、様々な思いがえり子の頑張りたい気持ちを支えていたことを捉えました。その後、それらの気持ちを色分けし、自分ならどの気持ちを大切にしたいか考え、友達と交流しました。「僕は黄色だよ。だってみんなできている劇だから、自分がやらないと、みんなに迷惑が掛かると思うよ。」

「私は赤で、自分の役割をしっかりと果たさないと、それもみんなの迷惑になったり、自分が後悔したりすると思うからだよ。」「二つの火はつながっているんだね。」と火と火のつながりを感じたり、「例えば掃除の時で考えると…」「自分がもしえり子だったら…」と普段の生活や自分とつなげて考えていました。最後には、これまでに考えたことも踏まえて、改めてよりよい学級集団になるためには何が必要か考えました。道徳科の授業で考えたことがその時間だけに終わらないように、宿泊学習や道徳の学習の学びを、日々の学校生活とつなげながら生活してもらいたいと感じます。



----- 切り取り -----

道徳だよりへのご質問・ご感想

( ) 年 ( ) 組 児童名 ( )

